イカの駅

# 東京奥能登応援団だより

# こ挨拶 凡 町 長



スコートでソフトテニスの全国高

また、フ月末には、能都健民テニ

たしました大森凡世です。 本年4月よ り、能登町長に就任い

援をはじめ東京から元気を賜り厚 素よりふるさと納税を通しての応 くお礼申し上げます。 東京奥能登応援団の皆様には、平

皆様ご存じのとおり、私たちの住

域への愛情を育み、そして「ふるさと り育ててきた伝統文化を継承し、地 まちづくりを目指しています。 能登町」を愛する心を醸成していく な農山漁村です。私は、先人たちが守 遺産」へ登録されるなど大変魅力的 む能登町は、「世界農業遺産」や「日木

メイカのモニュメントを設置し、そ ルとなる全長1m、高さ4mのスル 6月にオープンした観光交流施設 さて、町の出来事としては、昨年 つくモール」にシンボ

れました。 に新しい風と元気を生み出してく このコロナ禍の大変な時ですが、町 川県の生徒が1名留学されるなど 入れる「地域留学」制度が始まり香 を残してくれました。そして、能登 個人戦3位という素晴らしい結果 高校では県外からの高校生を受け ず熱戦が繰り広げられ、能登高校が 客での開催でしたが、猛暑にも負け ナウイルス感染症対策のため無観 校総体が開催されました。新型コロ

うまちづくりを進めて参りますの りますが、東京奥能登応援団の皆様 いたします で、今後とも応援をよろしくお願い に町の元気な姿をお見せ出来るよ コロナ禍で大変厳しい時ではあ

月までに来場者が10万人を超え、 町 の愛称が「イカキング」に決まりま いています 内外より多くの方にお越しいただ した。昨年のオープンから今年の8

## 奥能登国際芸術祭」開催を11月5日(金)まで延長

### スズ・シアター・ミュージアム・「光の方舟」

スズ・シアター・ミュージアムは、日本海 を見下ろす大谷エリアの高台に位置していま す。かつての珠洲市立西部小学校の体育館 〈2016年閉校〉を全面的に改修し、珠洲の 文化の保存と活用の拠点として、2021年9 月より新たな歩みを始めることになりました。 珠洲市内の家々に眠っていた生活用具の 数々を一堂に集め、民俗・人類学的視点か ら展示紹介するとともに、気鋭のアーティス トたちがそれぞれの視点から技能と相乗力 を駆使して、それらの生活用具に新たな命を

吹き込み、土地の物語の表現へと結晶化させています。 各々の作品の中で解釈され、意味づけられることで、生活用



具は以前とは異なる命を得ることになりました。博物館と 劇場が一体化したミュージアムの誕生です。



# 書家 船本芳雲さん ふるさとを書す

は会場を圧倒していました。

書き下ろしたもので、その作品群

故郷奥能登の『雪』をテーマに

m×横7m)をはじめとする13作品

船本芳雲さんの超大作

(縦 3.6

とともに、郷愁を深めていました。グライター、と呼ばれる面目躍如で、さすが、書道界のシンガーソンで、さすが、書道界のシンガーソンと見事に謳い上げた作品は傑作を見事に謳い上げた作品は傑作とくに、おとしべ(出稼ぎ)からとともに、郷愁を深めていました。

見学しました。

東京珠洲会と飯田高校同窓会

船本先生の略歴

1942年 樺太に出生 1847年 石川県珠洲市に引揚げる

1961年 飯田高校卒業、上京

1970年 青木香流に師事·書道界に

1992年 (一社)書燈社理事長

2004年 毎日書道顕彰芸術部門受賞 2013年 日本詩文書作家協会会長

第65回毎日書道展文部科学大臣賞

2015年 毎日芸術賞

作品を自ら解説する ) 船本芳雲さん

現 在 文珠会主宰、毎日書道会常任顧問

全日本書道連盟理事、高野山書道協会副会長など

著 書 「ふるさとの唄」(天来書院)詩集「心溜まり」(不二出版)





# 奥能登 国際芸術祭の 見どころ紹介

屋外の作品 ▶
NO.04
「私のことを考えて」
スポード・グプタ
(笹波海岸)

まで延長されました。

至作品が公開され、会期は11月5日

10月1日からは、屋外作品も含む

ト鑑賞を楽しんでいます。

石川県内の「まんえん防止等重点 指置」適用の最中の9月4日開催されましたが、屋外作品を中心に公開 を限定されています。感染症対策の ため、来場者には、検温や手指消毒、 マスクの着用はもちろん、QRコー ド付きリストバンドの装着による が、大きな混乱もなく、多くの方が



▲ 「月うさぎ: ルナークルーザー」 シモン・ヴェガ (上戸)



▲ディラン・カク (旧鵜飼駅)



▲珠洲焼の風鈴の音を聞く竹床のドーム(旧上黒丸小中学校) 写真は 広報すず10月号から引用

10月1日金~31日田

### ふるさと行事のご案内

穴水まいもんまつり秋の陣"牛まつり"まいもんまつり加盟店(穴水町)

11月21日(日)

横浜市鶴見 仲町マルシェ「能登・輪島物産市」 横浜石川県人会(本田ゆり子代表世話人)

~頑張る奥能登人~

株式会社こっしゃえる 専務取締役

# 林生一郎さん

(能登町小木在住)

私はイカの町小木に生を受け、小木港所属漁業船の修理を 家業とする家に産まれました。

私が幼少期の小木港には、多くの中型イカ釣り船が港に溢れていましたが、近年は様々な影響から減船となり、とても厳しい時代となっています。

そんな地域経済も厳しい中で、20代で能登へ帰ったのでしたが、先輩方から地域の若者の一人として、ご指導と期待を受けながら、よく可愛がって頂きました。

小木地区の住民は大小ありますが、必ずイカ漁と関わりがあります。そんな地区のイカ釣り船修理業の稼ぎで育った私は、特にその恩恵を受けていると考えています。いつか地域に貢献したいと考えていた頃、のと九十九湾観光交流センター建設計画の委員に参加しました。漁師さんが獲ったイカを陸で付加価値を付けて販売し外資を得て、穏やかな九十九湾を利用したマリン事業に関わる好機でした。そして、それを自由度が高い民間企業で運営出来ないかと思い、有志を募り、創業しました。現在、コロナ禍ではあるもの、おかげさまで社員一同、笑顔で営業させて頂いております。

自動車業との両立は決して簡単なものではありませんが、能 登人持ち前のの開拓精神を糧に、必ず持続可能な町を "こっ



しゃえる"という夢のため、日々精進しています。

これからも先人から受けた恩を、私の活動を通して社内外の 若者へ恩送りをして、地域の未来へと大きな恩返し続けていき ます。

### ◆経歴

昭和54(1979)年 旧内浦町小木で生まれる

平成 10(1998)年 金沢工業高等専門学校卒業

平成 12(2000)年 愛知県 中部日本自動車整備専門学校卒業

同年春 石川トヨタ自動車 入社

平成 18(2006)年 有限会社林鉄工所 林自動車整備工場 入社平成 30(2018)年 株式会社こっしゃえる 設立 取締役 就任

※令和 2(2020)年 のと九十九湾観光交流センター

イカの駅 つくモール 開業

### のと九十九湾観光交流センター イカの駅 つくモール

日本有数の水揚げを誇る能登町小木港のスルメイカや 日本百景九十九(つくも)湾の絶景が味わえる観光交流施 設です。建物入り口には、巨大イカのモニュメント・イカキ ングがお出迎えします。

店内では奥能登地域の出品者にこだわったお土産や加工品を多く取り揃えております。レストランでは船凍イカのお造りや天ぷらを提供しています。九十九湾を望みながら、 当店自慢のイカスミソフトを是非とも、ご賞味ください。

皆様のご来店、心よりお待ちしております。なお、コロナ禍にて帰省やご旅行の難しい方にご利用しやすいネットショップも開設しております。『のとマート』にて検索く

ださい。

末筆ながら、平素よりイカの駅つくモールにご愛顧を 賜り誠にありがとうございます。そして東京奥能登応援 団の益々の発展と会員の皆様のご多幸を祈念致します。

- ■電話/0768-74-1399
- ■所在地/石川県鳳珠郡能登町字越坂18字18番地1
- ■施設営業時間/9:30~17:00 館内レストラン11:00~15:00 (ラストオーダー14:30) 水曜日定休
- ■インターネットショッピングサイト のとマート https://notomart.com/

事務局から 新型コロナウイルスの拡大が縮小せず、1年延長された「奥能登国際芸術祭」の開催が危ぶまれましたがいよいよ開会。しかし、リバウンドの畏れもあり首都圏在住者には帰郷しての鑑賞には躊躇せざるを得ませんでした。

参加呼び掛けのスタンスに腰が定まらず、小紙の編集が遅れてしまうザマでダッチャカズを露呈してしまいました。**(** コロナ禍まん延に歯止めがかかったようです。(満を持して)皆さんこぞって芸術祭に里帰りしましょう。感染対策を

徹底して!! [東京奥能登応援団] 代表/光眞 章 副代表/下平 康次